

ただいま上程されました議案の御説明を申し上げます前に、一言御報告を申し上げます。

議員各位には、先の選挙におきまして、多くの県民から信任を受けられ、めでたく当選の栄誉を得られました。ここに改めまして、深く敬意を表する次第であります。

今月1日、天皇陛下が御即位され、「令和」の時代が始まりました。県民の皆様と新しい時代の幕開けをお祝い申し上げますとともに、「令和」の時代が、平和で希望に満ちあふれた明るい時代となることを願っております。

また、本年秋に行われる大嘗祭に係る^{ゆき}悠紀の地方に本県が定められました。誠に名誉なことと存じますとともに、今後、関係者等と連携し適切に対応して参ります。

さて、我が国の経済は、4月の月例経済報告によると、「輸出や生産の一部に弱さが見られるが、緩やかに回復している。」とされておりますが、中国経済の減速、通商問題の動向等、先行きが不透明な状況にあります。また、東京圏への若者を中心とした人口流出に歯止めがかからず、全国各地において人手不足が深刻化する中、特定技能による外国人材の受入れを拡大する改正出入国管理及び難民認定法が4月1日に施行されたところであります。

本県におきましては、こうした状況等を踏まえ、国の「わくわく地方生活実現政策パッケージ」を活用し、東京圏からの移住や就職等を促進するとともに、女性や高齢者等の新規就業を支援するほか、先月設置した「栃木県国際戦略推進本部」において、県産品や農産物の輸

出促進、インバウンドの取組強化、多文化共生の地域づくり等の国際化施策に全庁を挙げて戦略的に取り組むなど、最終年を迎えた「とちぎ創生15戦略」の総仕上げに向け、各種施策を全力で推進して参ります。また、4年目を迎えた「とちぎ元気発信プラン」につきましても、「次代を拓く人づくり」を第一の柱とする各プロジェクトの更なる推進に全庁一丸となって取り組んで参ります。

現在、「本物の出会い 栃木」アフターデスティネーションキャンペーンが開催され、多くの観光客の方々に本県へお越しいただいておりますが、今年秋には、ラグビーワールドカップ2019、来年夏には東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、その2年後には、いちご一会とちぎ国体等が開催されます。この機を逸することなく、県民や市町、企業等と連携し、オール栃木体制で本県の魅力・実力を全国に、そして世界へ発信し、すべての分野で「選ばれるとちぎ」の実現を図って参りたいと考えております。

また、人口減少・少子高齢化が進行する中、将来にわたる地域の活力の維持、子育てや教育環境の充実、ICTやAI技術の実社会への導入など、県政の重要課題に的確に対応していくため、令和2年度を初年度とする次期まち・ひと・しごと創生総合戦略と、令和3年度を初年度とする次期プランの策定を進めることとしております。これらプラン等の策定に当たりましては、議員各位をはじめ、市町、有識者、更には将来を担う若者や子育て世代の方々からの御意見を幅広く伺いながら検討を進め、とちぎの未来創生の実現に向けたビジョンをしっかりと描いて参ります。

結びに、県民から県政の舵取りを負託されている私の使命を日々しっかりと胸に刻み、市町や企業等とも連携・協力しながら、豊かで魅力ある“とちぎ”を次の世代へ確実に引き継げるよう、全力を傾注して県政運営に当たって参ります。さらに、県政情報の積極的な発信等により、県民の県政への理解が一層進み、県政がより身近なものとなるよう、県議会とともに取り組んで参りたいと考えておりますので、議員各位の御理解と御支援をお願い申し上げます。

次に、議案の概要について御説明申し上げます。

今回提出いたしました議案は、第1号議案栃木県監査委員の選任同意についてであります。監査委員のうち県議会議員から選任される委員2名が欠員となっておりますので、阿部博美氏及び五月女裕久彦氏が最も適任と考え、その選任について同意を求めるものであります。

何とぞ、よろしく御審議の上、議決されますようお願い申し上げます。